

# パレスチナとイスラエルの人権の「非対称性」

～身近なものから捉え直す～

## 研究背景



- #1 ハマスの襲撃  
ハマスの先制攻撃とイスラエルの大規模なガザへの反撃
- #2 国際社会の反応  
ハマスをテロリストとし、イスラエルの自衛権行使を支持する国  
↓  
イスラエルの抗議デモが起きている国
- #3 人権の「非対称性」  
今まで温存されてきたパレスチナとイスラエルという対照的ではない二項関係が、今回の紛争で改めて顕在化。私たちの生活の中でもこのギャップは存在しているかもしれない

## 問い・着眼点

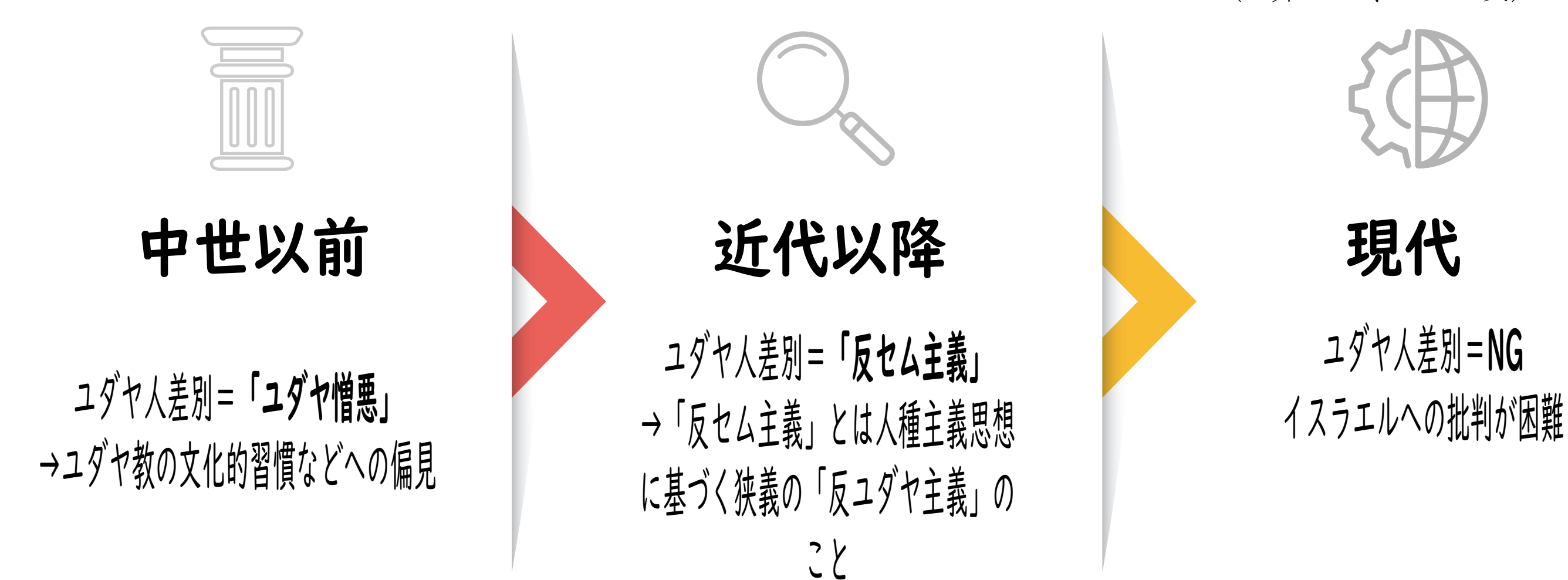
パレスチナとイスラエルの人権の「非対称性」はなぜ今まで温存されてきたのか？

私たちの日常や身近なところから考える

## 先行研究

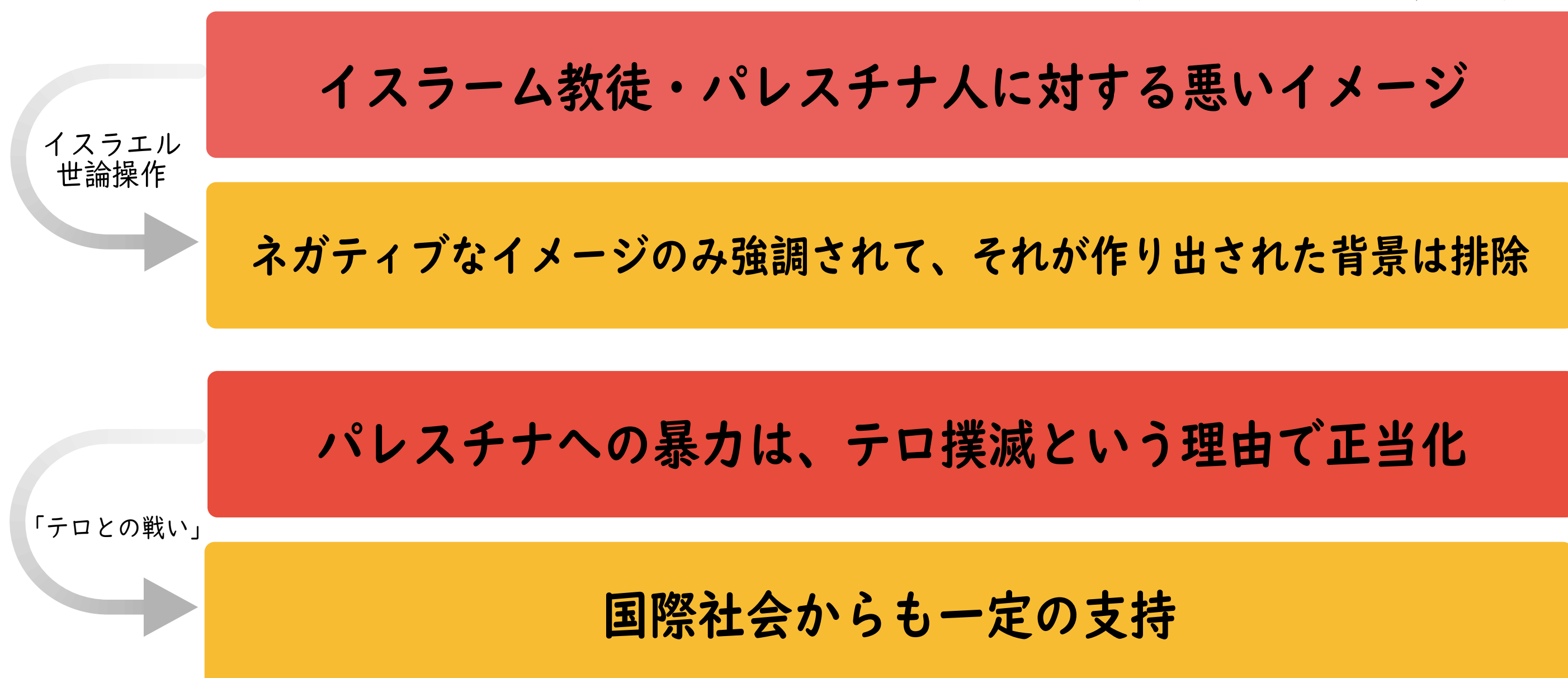
### 1 イスラエル批判＝反ユダヤ主義という言説の歴史的な形成

(二井 2017、45～47頁)



### 2 パレスチナ人＝テロリストというイメージの歴史的な形成

(E. W. サイド 2003、38頁)



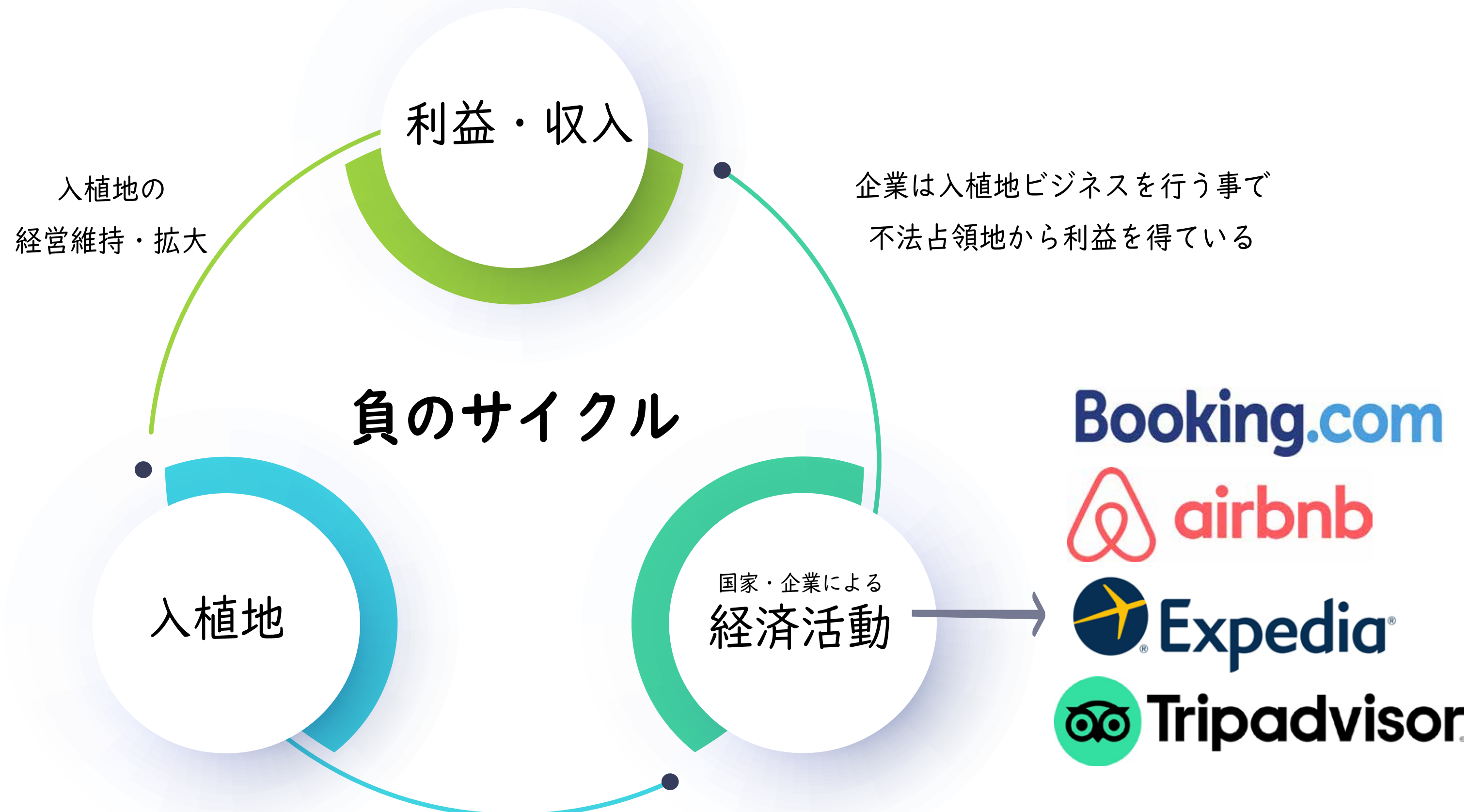
## 参考文献

Arab News (2023) 「マクドナルド、スターバックスなどの米系ブランドが中東政治情勢の代償を払い続ける理由」<https://arab.news/2mkzy>  
E-W. サイド、中野真紀子訳 (2003) 『イスラエル、イラク、アメリカ』みすず書房  
酒井啓子 (2012) 『中東政治学』東京：有斐閣  
土井敏郎 (2008) 『沈黙を破る 元イスラエル軍将兵が語る「占領」』東京：岩波書店  
二井彬樹 (2017) 「『反セム主義』と人種主義思想の歴史的変遷」『生活文化研究』3巻 1号 <https://doi.org/10.1901/7>  
水野賢太、大西立雄、渡辺勇 (2018) 「グローバル・サプライチェーンのネットワーク構造に基づく紛争資源分配」『人工知能学会全国大会論文集』32回 [https://doi.org/10.11517/pjsai.JSAI2018.0\\_3020S1b05](https://doi.org/10.11517/pjsai.JSAI2018.0_3020S1b05)  
Al Jazeera. (2023). McDonald's franchises in Middle East at odds over Israel-Hamas war. <https://www.aljazeera.com/economy/2023/10/20/mcdonalds-franchises-in-middle-east-at-odds-over-israel-hamas-war>  
Amnesty International. (2017). States must ban Israeli settlement products to help end half a century of violations. <https://www.amnesty.org/en/latest/news/2017/06/states-must-ban-israeli-settlement-products-to-help-end-half-a-century-of-violations-against-palestinians/>  
Amnesty International. (2019). Israel and Occupied Palestinian Territories: Destination: Occupation digital tourism and Israel's illegal settlements in the Occupied Palestinian Territories. <https://www.amnesty.org/en/documents/mde15/490/2019/en/>  
Amnesty International. (2019). A war crime, not a tourist attraction. <https://www.amnesty.org/en/latest/news/2019/01/israel-opt-tourism-companies-driving-settlement-expansion-profiting-from-war-crimes/>  
BDS Movement. (2015). What is BDS?. <https://bdsmovement.net/what-is-bds>  
Business & Human Rights Resource Centre. (2020). UN publishes list of 112 companies operating in Israeli settlements in the Occupied Palestinian Territories. <https://www.business-humanrights.org/en/latest-news/un-publishes-list-of-112-companies-operating-in-israeli-settlements-in-the-occupied-palestinian-territories/>  
OHCHR. (2020). UN rights office issues report on business activities related to settlements in the Occupied Palestinian Territory. <https://www.ohchr.org/en/press-releases/2020/02/un-rights-office-issues-report-business-activities-related-settlements>  
UN News. (2020). Database of businesses linked to Israeli settlements "important initial step" towards accountability: rights expert. <https://news.un.org/en/story/2020/02/1057451#:~:text=A%20database%20of%20112%20businesses%20connected%20to%20Israeli,ands%20the%20rest%20are%20in%20six%20other%20countries>

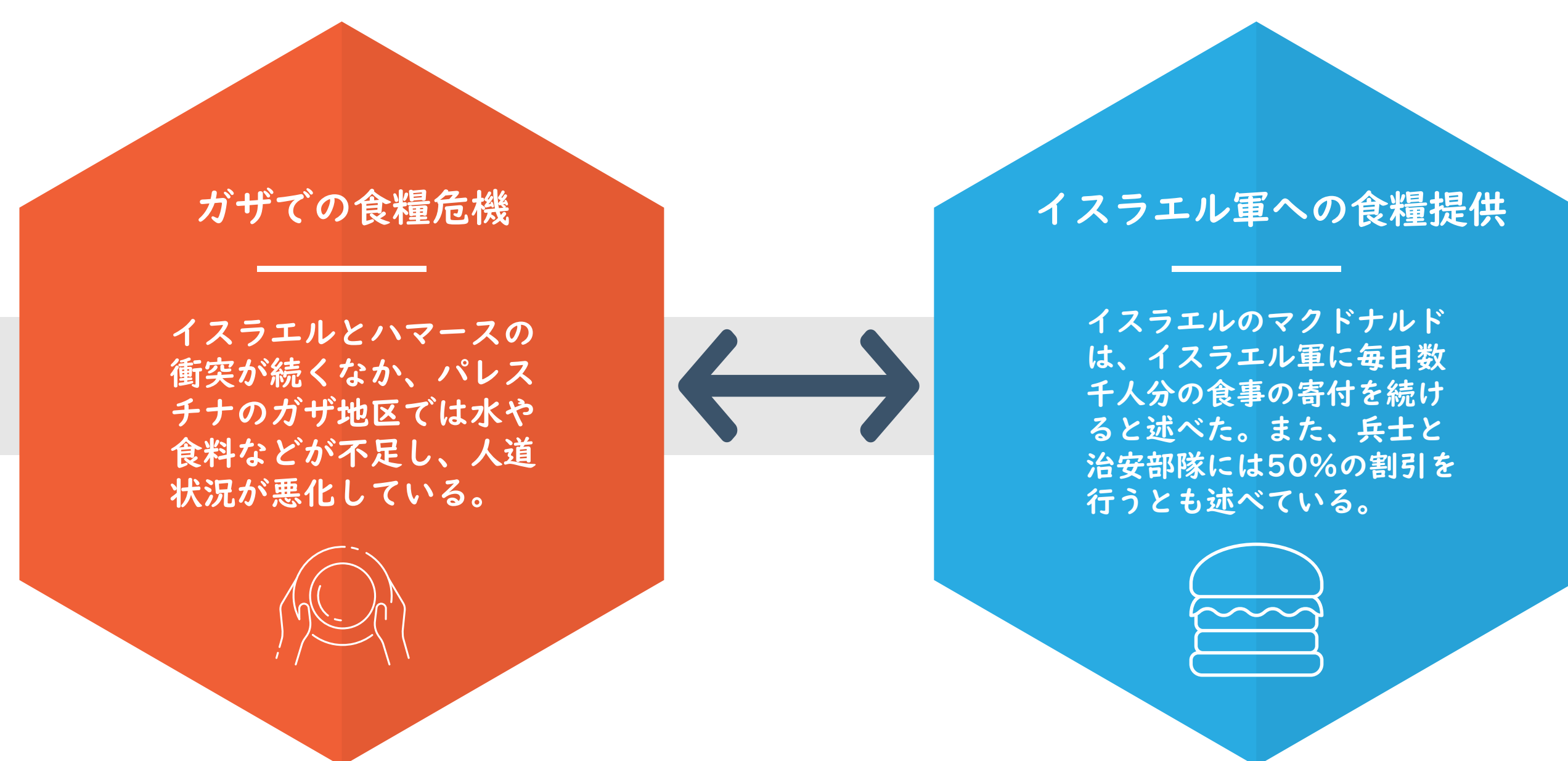
## 検証

グローバルサプライチェーンの人権問題という身近な問題から日常的なイスラエルのパレスチナ人権侵害について、他の問題と比べて、私たちに見えにくくなっている。

### 事例1 入植地の違法経済活動 見逃される人権侵害



### 事例2 ガザ攻撃への支援 見逃される人権選別



歴史的に形成されたイスラエル・パレスチナの各表象が、人権侵害の「正当化」の材料として利用され、国際社会にも根付いている  
→イスラエルや企業がパレスチナで、日々行っている人権侵害が国際社会から見逃され、人道支援が本当に必要な所へ行き届いていない点から、パレスチナとイスラエルの「非対称性」が見いだされる。

## 結論

私たちが普段使っている商品やサービスが実は、占領地で作られたもの、あるいはその利益が直接的・間接的に、占領地における人権侵害につながるという構図が存在する。しかし、このような問題がパレスチナとイスラエルの人権の非対称性によって、グローバルサプライチェーンの問題として、世界にあまり認識されていない現状がある。